

## 地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和5年9月22日（金）午後7時30分～午後8時30分
地 区	星田山手地区
場 所	星田山手自治会館
参加人数	22人

### テーマ1 バス道路の振動について

#### 主 旨（住民）

- バス道路沿いの住宅において、大型車両が通行する際に非常に振動を感じるのに対応いただきたい。  
そもそもその道路が重量物を積んだトラックが通行できる構造になっているのか疑問が深くなっている。大阪府は道路管理の面で非常に細かく規定されている。そういった裏付けのある管理をしていただくと安心・安全にもつながる。そういう意味でも今回の機会に調査と対策をお願いしたい。

#### 市 長

- 交野市においては、現在5年に一度路面性状調査を外部委託をしており、道路状況に関しては客観的に調査を行ってその結果に基づき補修等を計画的に進めている。  
騒音や振動に関しての大きな要因は、やはりマンホールのところ段差が生じてしまうことと、地下埋設物等の要因が考えられる。特に本市では第二京阪国道、国道168号線、府道村野神宮寺線といった道路に関してはトラックやトレーラーが頻繁に通るため、沿道の方にも多大な影響があると思う。  
星田山手地区に関しては、バスの通行頻度が概ね1時間に数本程度の状況。騒音や振動が環境規制に逸脱するような状況であれば、当然何らかの対応が必要であると思うが、一方でバスに関しては、周辺の住民の皆様に対する一定の受益を考えると、環境規制の範囲内にはなるが、受忍というところもあると思っている。もちろん市としては、バス道は重要と認識しており、路面性状調査に基づき計画的に修繕していきたいと考えている。

#### 意 見

- 構造的にバスが通ることができる道なのか聞きたい。  
→〔市長〕当該道路については、バスが通ったらいけないとか、構造上通れないとか、そのような道ではないと、担当とやり取りした上で回答している。時期がきたら、当該道路の舗装修繕についても適切に実施してまいりたい。
- 改めて路面性状調査を行い、対策を講じてもらえるのか。  
→〔市長〕路面性状調査は5年に一度行うものであり、今日の件に基づき新たにやるといったものではない。5年に一度の調査は数千万円の予算がかかり、それに基づく道路改修は計画的に実施する。特にバス路線に関しては優先して実施をしているところであり、日常の維持管理も当然やっているの、ご理解いただきたい。

## その他

### 地域包括支援センターについて

#### 主 旨

- 交野市は地域包括支援センターが1箇所しかない。近隣他市と比べても非常に少ないと思う。高齢者も増えてきて相談もよく受けるので増やしてほしい。

#### 市 長

- 交野市は面積25平方キロで、半分が山で人が住んでるのは10平方キロぐらいしかない市である。鉄道の結節点が交わっていると真ん中にゆうゆうセンターがあり、そこに医師会・歯科医師会・福祉部・健やか部さらに社会福祉協議会があり、全てがそこにコンパクトにまとまっていて、そこを中心として重層的な支援体制を市域全域に提供できている。当然のことながらそれを分けた方がという意見もあると理解するが、メリットデメリットもあるので、関係団体の状況も含め慎重に対応していきたい。

## その他

### コミュニティバスについて

#### 主 旨

- コミュニティバスも住民にとっては大きな問題と考えている。市長の見解をお聞きしたい。市の行事にも参加したいが不便になったので改善を望む。

#### 市 長

- 現在、京阪バスの走っていない地区に関しては無料のワゴン車を走らせている。来年度については別の地区で試行的に実施予定。星田エリアに関しては、現状、京阪バスに年間2千万円を支援している。南星台・妙見坂・妙見東のエリアについては、フレンドタウンも行けて星田駅も行けて交野市駅も経由する路線。ただし星田山手と星田西地区においては、一部昼間の時間帯に遠回りというご指摘もある。現在の路線に関しては来年度までは維持できるが、その後のバス路線については、現在京阪バスと協議中である。市としても、外出支援・移動支援の部分は全市域的に行う予定であり、今後検討していく。

## その他

### 道路(歩道)の段差について

#### 主 旨

- シルバーカーで歩道を通行しているが車道との段差がきつく危険であるので、段差を小さくしてほしい。

#### 市 長

- 車道と歩道を区別するために意図的に段差が生じている。これは安全対策の一つでもあり、障害者の配慮も一定含んでいるため中々難しい点がある。できるだけ安全で快適に通行できるよう、ご指摘の点も含め対応を考えたい。

## その他

### 星田駅周辺の今後の展望について

#### 主旨

- 星田駅の北側が開発され、出張所や交番が移転すると思ったがしなかった。星田駅周辺の今後はどうなるのか聞きたい。

#### 市長

- 旧出張所の土地に関しては星田消防団車庫もあり、星田区の事情もあって現在協議中である。星田交番の移転に関しても、星田駅北側の市の所有地があるのでそちらに移転できるよう警察と協議をしているところ。また、駐輪場の新たな設置も進めており、この地区全体がよくなるようにしていきたい。
- 市の公共施設が天野川の東側に集中していることから、今後についてはこの地域への整備を考えており、まず防災倉庫の第1号を整備予定である。またフレンドタウンの周辺のまちづくりを予定しており、乙辺浄化センターの建て替えと道路についても整備し、道の駅など大型車両が利用できる施設を整備し、フレンドタウンと茄子作のコーナンまで道を繋げたいと考えている。また、公共施設を結ぶ手法についても、何かを導入できないかも検討している。
- その他、免許返納に対する方策を考えるにあたり、もともと免許を持っていない人との兼ね合いが課題になってくる。免許を返納した人だけが永続的にメリットを享受できる状態は不公平なので、返納した一時だけメリットを付与し、その後は全員平等になるようにと考えている。  
交野市では外出支援として電車・バスの補助を行っているが、タクシー利用には制限があるため、その部分の改善や対象者の拡大に合わせて、地区ごとの実情に合わせた支援も来年度以降に実施できるよう検討していく。

## その他

### 土砂災害警戒区域について

#### 主旨

- 大阪府にて交野市所有の公有財産が非常に危ない地域と認定され、この影響範囲にある住民の皆さんが平成28年から調査をしてほしいとお願いしている。今後行政として、どのような対応を行うのか。

#### 市長

- 当該地は市有財産の名義にはなっているが、大阪府労働者住宅生活協同組合から市が移譲を受けたものであり、その後大阪府により土砂災害特別警戒区域、警戒区域に指定されたもの。土砂災害警戒区域、特別警戒区域は、土石流や急傾斜地など3種類に分かれており、特に課題となる急傾斜地については、受益者負担の課題などもあり対策工事が進んでいない状況。  
市有財産を起因として、急傾斜、土砂災害特別警戒区域、警戒区域に指定されているところは市内に複数箇所あり、傾斜の状況等を勘案し優先度合いも含めて順次対策を進めていきたい。